

～防災知っ手帖～

日本でこれまでに発生した地震について

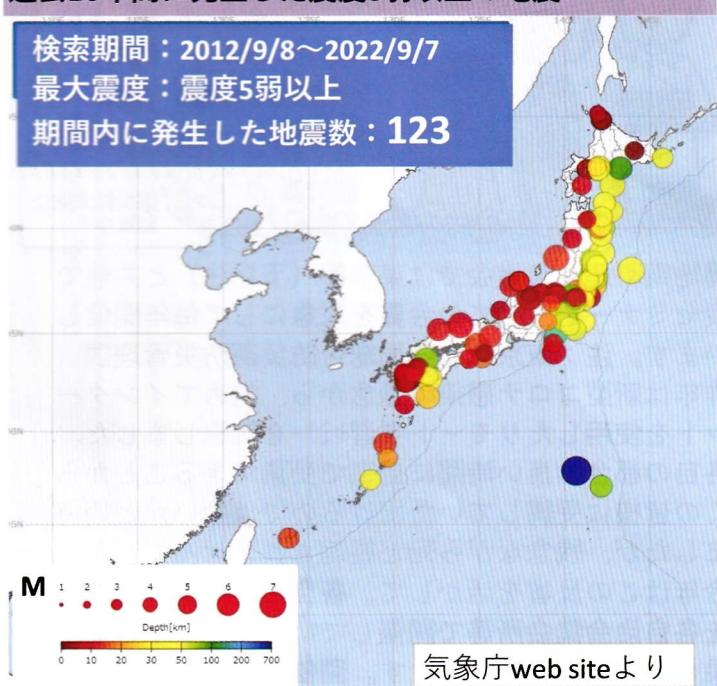
「大地震に備えて地震への備えをしましょう」と言われても「これまで大丈夫だったから準備するだけムダ」と考えていませんか。しかしそれは間違い！日本でどれだけ地震が発生しているか認識しましょう。

過去10年間に発生した震度5弱以上の地震

検索期間：2012/9/8～2022/9/7

最大震度：震度5弱以上

期間内に発生した地震数：123



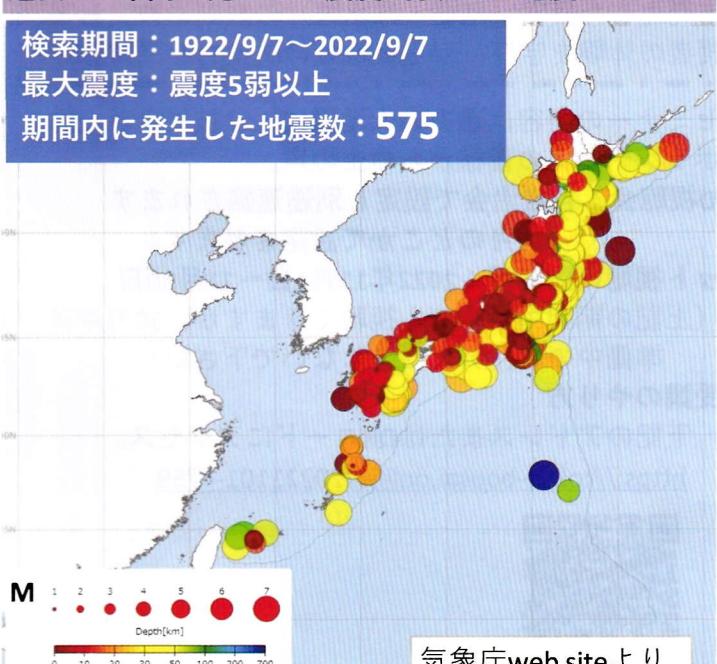
日本における地震はほぼ全国いたるところで発生しており、発生頻度が高い地域ではもちろん、それまで発生していない地域に突然大地震が発生することもあるので、どこにいても大地震への備えは必要です。

過去100年間に発生した震度5弱以上の地震

検索期間：1922/9/7～2022/9/7

最大震度：震度5弱以上

期間内に発生した地震数：575



発行：郷地東町連合自治会 会長 志村和亮
防災部 鈴木祥平 酒井直

東京都の防災対策普及啓発事業助成金

「東京都は災害時に住民に一番身近な町会・自治会が、防災対策の普及啓発事業を展開することで、地域における防災意識の醸成と地域防災力の向上を図ることを目的として、町会・自治会による防災対策普及啓発事業を支援します。」（東京都より）

ということで、当連合自治会ではこの助成金の申請を推奨しております、すでにいくつかの自治会では申請済みです（申請は単一自治会からしかできないので連合自治会からまとめて申請できない為）。申請期間は3期に分かれており、すでに第2期までは申請期間が終了していますが第3期は11月14日まで可能です。

● 災害に対する自宅での備えは万全ですか？

東京にはさまざまな災害リスクが潜んでいます。いつもの暮らしに少しだけ手を加える、小さな備えの積み重ねが、多くの命を守ります。今からできる準備を進めましょう。

● 「日常備蓄」で災害に備えましょう

「日常備蓄」は、災害に備えて特別な準備をするのではなく、普段使っているものを少し多めに用意しておこことです。

備蓄品の種類や量は、家庭構成や家族状況によって異なります。まずは3日分、できれば1週間分を目標に備蓄を進め、災害に備えましょう。



東京都からのお知らせ



災害はいつ起るかわかりません。

日々の備えが大切です。

家族や地域の方々と、できるところから始めましょう。

「備えよ、靠に！」

東京都より
「日々の備えよ、靠に！」

首都直下地震が発生すると、建物倒壊や火災など様々な被害により、生活に大きな影響ができます。

- ・揺れによる家具の転倒により下敷きとなる可能性
- ・電力、上下水道、ガスなどライフラインが途絶し、生活に大きな支障
- ・マンションでは水道が供給されても、当面トイレが利用できない可能性
- ・携帯電話はつながりにくく、スマートのバッテリーが切れると家族との連絡が困難に

- ・家具転倒防止対策や災害時の家族との連絡方法※の確認を行いましょう。



↑詳細はコチラ

- ※ 災害用伝言ダイヤル(171)等で、家族の安否確認メッセージを登録・確認できます。
- ・電力が復旧した際、倒れた電気ストーブや照明器具に接触する可燃物から通電火災が発生する可能性
 - ・被害状況によっては、ライフラインの復旧や計画停電が長期化する可能性

- ・避難時は、必ずブレーカーを落としましょう。



- ・避難生活の継続によりストレスなどが増加
- ・スーパー・コンビニでは、生活必需品の品薄状態が継続
- ・点検終了までエレベーターが使用できず、外出等が困難

- ・避難生活に備え、水や食料、携帯トイレ、常備薬等を備蓄しましょう。

